

長年、膝の痛みに
悩んでおられる
方々へ



院長 奥田 真義

当院の再生医療はこんな方におすすめ!

- ✓膝が痛い
- ✓変形性膝関節症と診断された
- ✓できるだけ入院や人工関節は避けたい
- ✓年齢的に手術を受けることが怖い
- ✓ヒアルロン酸注射が効かない

そんな悩みを抱えている方には是非知っていただきたい治療法があります。

「それは

- ①自分の脂肪を用いる脂肪組織由来幹細胞 (ASC) 療法
- ②自分の血液を用いる多血小板血漿 (PRP) 療法

です。」

①脂肪組織由来幹細胞（ASC）療法

自分の脂肪から抽出した幹細胞を活用したASC療法

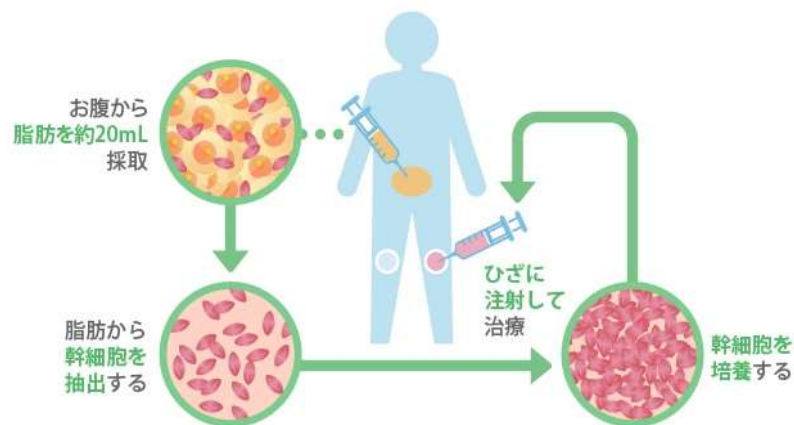
幹細胞治療は現在、培養治療、非培養治療、培養上清液治療の三種類に分けられます。その中で、幹細胞培養治療は当然ではありますが、幹細胞数をもっとも多く存在致します。その幹細胞による治療効果は大きく分けて二つあると言われています。

一つは、幹細胞自身が分化し軟骨、半月板、骨などになること。そしてもう一つは、幹細胞から出る成長因子や抗炎症性のサイトカインによる組織修復を期待したものになります。

幹細胞培養治療では、この両者の治療効果を期待できることから選ばれる治療となっております。

一方で、デメリットとしては、脂肪採取がやや身体の負担になること。幹細胞を培養するのに6~8週間程度時間を要することなどが挙げられます。

幹細胞を増やして用いるひざの再生医療



当院で行う 脂肪組織由来幹細胞 (ASC) 療法

✓ 脂肪採取

腹部に局部麻酔を行い、専用の器具で皮下脂肪（脂肪組織）20mlを吸引し採取します。

✓ 抽出・培養

採取した脂肪組織を細胞培養機関に送り、幹細胞を抽出し培養します。培養するのに約6～8週間必要とします。

注目!

当院の脂肪幹細胞は他院の培養数の5倍から20倍まで培養可能です。

PRPとASC を組み合わせることで相乗効果が期待できます

②多血小板血漿（PRP）療法

自分の血液から抽出した多血小板血漿を活用したPRP療法

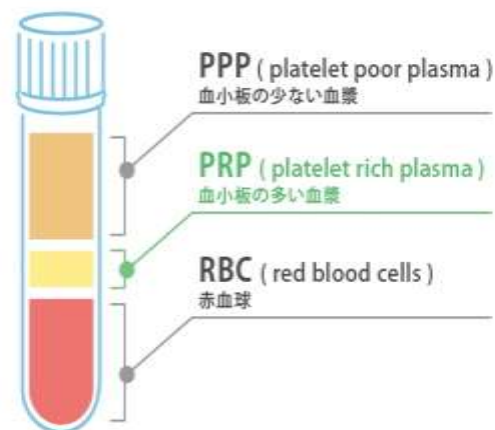
信頼性の高い先行する臨床研究が多数報告されており、安全性と治療効果が確認されています。また、基礎研究などから、組織再生に有利と考えられる知見が複数確認されています。

特徴として、白血球をほとんど含まないため、投与後の患部の腫れや疼痛が少ない点があげられます。

組織の再生よりも炎症を抑える作用が強く、抗炎症・修復の作用が期待できます。

注目!

- ・採血後に当院で精製
- ・採血当日に注入可能
- ・PRPとASC を組み合わせることで相乗効果が期待できます



当院で行う再生医療の安全性・持続性

✓ 高い安全性

自分の血液や脂肪を用いるため、重篤な副作用の心配が不要で、安心して治療を受けていただくことが可能です。

✓ 治療効果の長い持続性

国際的な権威ある学術誌において、高いレベルの科学的根拠を有する研究結果が報告されており、安全性と有効性が確認されています。

当院は再生医療等提供計画が受理されています

本邦で再生医療を行うには、再生医療等安全性確保法（実施可能な再生医療を行うための法律）に則り、再生医療等提供基準（厚生労働省令）に基づいた再生医療等提供計画を作成し、認定再生医療等委員会の厳しい審査を通過した上で、厚生労働省に受理される必要があります。当院で提供する再生医療は再生医療法*に基づいた厳しい施設基準を満たしており、安全性が確保された治療法を正しい手順で実施できる施設として厚生労働省により登録されています。

※ 再生医療等提供計画（第二種）を取得済み。

第二種再生医療等・治療に関する提供計画

当院は、第二種再生医療等提供機関として厚生労働省ホームページの一覧に掲載されています。



最新の再生医療を、身近で信頼できる地域中核病院で

一流アスリートや有名人が再生医療を活用し始めたことで、テレビや新聞、ラジオなど幅広いメディアで取り上げられています。さらに、関連学会などを通じ整形外科医の間で再生医療の認知度が向上し、再生医療を導入する医療施設が散見されます。

しかしながら、実施施設の多くが入院設備を持たないクリニックであるため、公正・公平な立場で再生医療が行われているのかという懸念の声もあります。人工関節といった手術治療や麻酔に関する医療技術は日々進化しているため、過去に関節手術に携わっていたというだけでは、一人ひとりの病状に合わせた治療の提案は難しいでしょう。（※ 高齢だからという理由で、手術による治療を最初から全く考慮していない再生医療の実施施設も少なくありません。10年前の医療水準（麻酔・痛みのコントロールを含めた周術期管理・最新の人工関節治療）と“現在”のとは全く異なりますので、比較すること自体に無理があります。）

あなたのひざの痛みに再生医療が適するのか、人工関節や骨切り術といった他の外科的治療が必要なのか。当院で行う再生医療なら、両者のメリット・デメリットを踏まえた提案が可能です。

「今、受けるべき治療が人工関節なのか、それとも再生医療なのか!？」

✓ アップデートされた最新の人工膝関節治療を行う整形外科専門医が、あなたの症状に最適な治療を提案いたします。

治療の流れ

① 受診のご予約

当院では安全でより良い再生医療をご提供するため、**完全予約制**となってい

ます。電話にて、診察希望の日時をご連絡ください。予約状況を確認し、当院から診察日をご案内いたします。

※再生医療担当医師のカウンセリングが必要ですので、ご予約・受診の際には必ず「**再生医療のカウンセリングを希望**」とお伝えください。



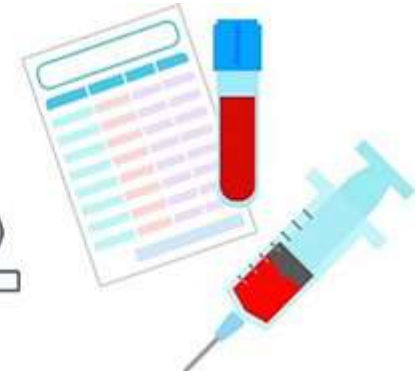
② カウンセリング・診察

レントゲンとMRIの画像検査を受けて頂き、カウンセリングに来て頂きます。

次に、スタッフにより症状の程度や病歴およびこれまでの治療経過も含めた問診を行います。カウンセリングの結果、当院での再生医療が適しているかどうかを判断させて頂き、感染症検査のため採血を行います。

再生医療について、ご説明・ご理解して頂いた上で、実際の治療日の予定をたてます。

なお、採血検査の結果によっては、再生医療（脂肪組織由来幹細胞（ASC）療法）を受けられない場合があります。



③ー1 治療 「脂肪組織由来幹細胞 (ASC) 療法」

予約日に来院して頂き、採血を行います。

腹部に局部麻酔を行い、専用の器具で皮下脂肪（脂肪組織）20mlを吸引し採取します。採取した脂肪組織を細胞培養機関に送り、幹細胞を抽出し培養します。培養するのに約6～8週間必要とします

脂肪の採取から約6～8週間後、培養した幹細胞を関節内に注射します。

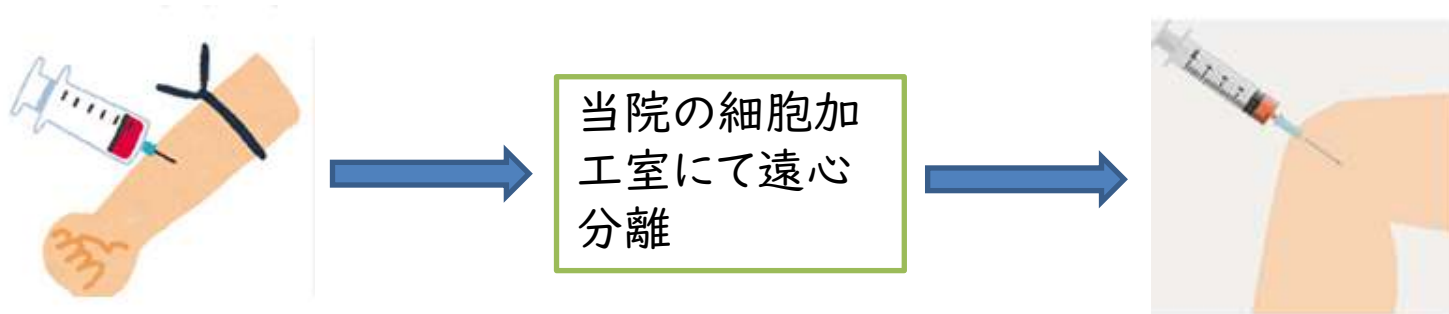


なお、この注射時には痛みを伴い、数日間注射部位に腫れ・痛み・熱感がでます。腫れは1週間程度続くことがありますが、その後は軽快していきます。採血部位や注射部位には皮下出血が起こることがあります。

③-2 治療 「多血小板血漿 (PRP) 療法」

ご自身の血液を約20ml採取します。

当院の「細胞加工室」にて、採血した血液から専用のキットを用いて、遠心分離をかけたうえで多血小板血漿 (PRP) を抽出し、膝関節内に注射します。



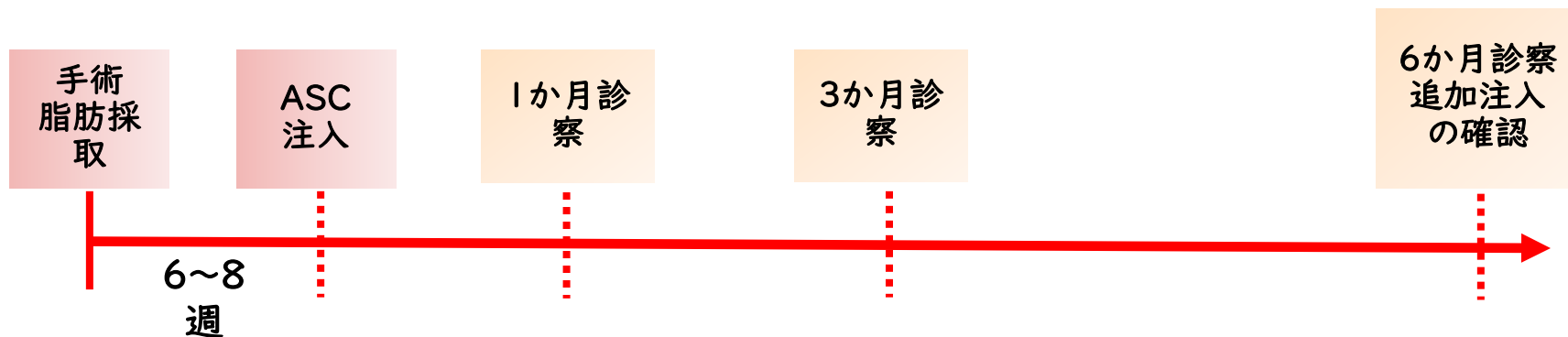
なお、この注射時には痛みを伴い、数日間には注射部位に腫れ・痛み・熱感がでます。腫れは1週間程度続くことがありますが、その後は軽快していきます。採血部位や注射部位には皮下出血が起こることがあります。

④ 定期検診

当院の再生医療は、ご自身の血液や脂肪を使用するため安全性が高く、外来のみで治療が可能(入院は不要)で、身体に負担が少ない治療法といえます。しかしこの再生医療はまだ新しい治療法のため、治療の効果や安全性について確認させて頂きたいと思います。

治療後は、1ヶ月・3ヶ月・6ヶ月の定期診察をお願いしたいと思います。

<治療経過> (例) 脂肪組織由来幹細胞 (ASC) 療法



東朋八尾健診クリニック

診察時間	月	火	水	木	金	土	日
13:00~17:00	×	×	○	×	○	×	×

TEL:072-925-6511

〒581-0803

大阪府八尾市光町1丁目26番地メルベージュ光町101